

知立市緊急奨学金支給要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、失職、破産、会社の倒産、病気及び死亡等による家計収入の激減により、経済的に高等学校等（知立市奨学金条例（昭和60年条例第29号）第5条第2号に規定する高等学校等をいう。以下同じ。）における修学が困難な者に対し、緊急に奨学金を支給することについて必要な事項を定めるものとする。

(奨学金支給の対象)

第2条 緊急に奨学金を支給することができるのは、次に掲げる事由で家計収入が激減し、その事由の生じた日から6か月以内に申請があった場合とする。

- (1) 主たる生計維持者が、自己の責に帰すことができない事由で会社が倒産したこと等により失職した場合
- (2) 主たる生計維持者が、死亡、又は離別した場合
- (3) 主たる生計維持者が破産した場合
- (4) 主たる生計維持者が病気、事故、経営不振等の事由により家計収入が激減した場合

(奨学生の資格)

第3条 奨学金の支給を受けることのできる者（以下「奨学生」という。）は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 本市に在住し、公立又は私立の高等学校等に在学する者
- (2) 前条の事由により、経済的に修学困難な者
- (3) 在学する高等学校等の学業が確実に修了できる見込みのある者
- (4) 愛知県その他の団体から奨学金を受けていない者

(奨学金の額)

第4条 奨学金の額は、月額9,000円とする。

(支給期間)

第5条 奨学金の支給期間は、奨学金の支給を開始したときから奨学生が現に在学する高等学校等の正規の修業期間を終了するまでの間とし、事由発生月の翌月から支給の停止となった日を含む月までとする。

(奨学金の支給)

第6条 奨学金は、原則として6月、9月、12月及び3月の4期にそれぞれのそ

の月までの分を奨学生又は保証人に支給する。

（申請の手續）

第7条 奨学金の支給を受けようとする者は、緊急奨学金支給申請書（様式第1）を知立市教育委員会（以下「委員会」という。）に提出しなければならない。

2 前項の申請には、次に掲げる書類を添付しなければならない。

- （1）家庭状況調査書（様式第2）
- （2）学業修了見込証明書兼推薦書（様式第3）
- （3）緊急奨学金支給事由証明書（様式第4）
- （4）振込依頼書

（奨学生の決定）

第8条 奨学生の決定は、委員会が行い、緊急奨学金支給決定通知書（様式第5）により緊急奨学金支給申請をした者に通知する。

2 緊急奨学金支給決定者は、誓約書（様式第6）を委員会に提出しなければならない。

（家庭状況経過報告書の提出）

第9条 奨学生は、3か月ごとに家庭状況経過報告書（様式第7）を委員会に提出しなければならない。ただし、第2条第2号の事由による者については、奨学金の支給を開始した年度の学年末以降、知立市奨学金規則（昭和60年知立市教育委員会規則第2号）に規定する手続きによることで、その翌年度以降はこれを省略できる。

（異動の届出）

第10条 奨学生又は保証人は、次の各号のいずれかに該当するときは、緊急奨学生異動届（様式第8）をその事由が生じた日から20日以内に委員会に提出しなければならない。

- （1）休学、復学、転学又は退学したとき。
- （2）愛知県その他の団体から奨学金を受けるようになったとき。
- （3）奨学生又は保証人の現住所に異動があったとき。
- （4）奨学金を必要としなくなったとき。

（支給の中断）

第11条 奨学生が休学したときは、休学した日の属する月の翌月分から復学した日の属する月の分まで奨学金の支給は行わない。

（支給の廃止）

第 12 条 奨学生が次の各号のいずれかに該当したと認められるときは、奨学金の支給を廃止する。

- (1) 退学したとき。
- (2) 愛知県その他の団体から奨学金を受けるようになったとき。
- (3) 家計が好転する等奨学金を必要としなくなったとき。
- (4) 本市の住民でなくなったとき。

2 委員会は、奨学金の支給を廃止したときは、緊急奨学金支給廃止通知書（様式第 9）により奨学生又は保証人に通知する。

（奨学金返還の免除）

第 13 条 奨学生は、奨学金を返還する義務を負わない。ただし、偽りその他不正な手段により支給を受けたときは、その受給額の全部又は一部を返還させることができる。

（委任）

第 14 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この要綱は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 28 年 3 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 30 年 11 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

様式第 1（第 7 条関係）

緊 急 奨 学 金 支 給 申 請 書

知立市教育委員会 様

			申請日	年 月 日
			申請者	
本 人	ふりがな 氏 名		生年 月 日	年 月 日
	住 所		電話	() —
	学校名	(科 第 学年)		
	学 資 関 係	1 か月平均学資 円	充当できる 1 か月学資 円	
保 証 人	ふりがな 氏 名		生年 月 日	年 月 日
	住 所		本人と の続柄	
緊急事由の発生年月日		年 月 日		
経 過				

記入上の注意

- 1 該当する項目には、○印をつけてください。
- 2 保証人は、父又は母とし、父母のいないときは、祖父、祖母、20 歳以上の兄弟その他これに代わる適当な人としてください。
- 3 学資は、授業料、会費、教科書、学用品、交通費等の金額で計算してください。
- 4 緊急事由発生日は、知立市緊急奨学金支給要綱の第 2 条の事由が発生した日を記入してください。
- 5 経過の欄には、事由発生前後の状況を記入してください。
- 6 事実と異なったことを記入すると、奨学生に決定されなかったり、決定されても取り消されることがありますから、注意してください。

様式第2（第7条関係）

家 庭 状 況 調 査 書

					記入日	年 月 日	
学校名					氏名		
住 所					電話	() —	
世帯員 (主たる生計維持者には、続柄欄に○印をつけてください。)	区 分	続柄	氏 名	年 齢	職業、学校名、及び学年、身体障害、長期療養等	所得の種類 (営業、給与、年金等)	家計収入激減後の年間見込所得 千円
	A 同居して いて生計 をともに する者	本人					
	B 別居して いて生計 をともに する者						
	生計を別にする者からの援助状況		援助者 住 所		援 助 額 (年 額)		
		氏 名		千円			
年 月 日 知 立 市 長 様 私は、A欄本人の申請による奨学生審査に必要な資料として、私及び私の家族の市税に関する賦課徴収資料の閲覧を承諾します。 A欄の主たる生計維持者 住所 _____ 氏名 _____ (印)							
年 月 日 ※ B欄の「別居していて生計をともにする者」がいる場合には以下もご記入ください。 知 立 市 長 様 私は、A欄本人の申請による奨学生審査に必要な資料として、私及び私の家族の市税に関する賦課徴収資料の閲覧を承諾します。 B欄の主たる生計維持者 住所 _____ 氏名 _____ (印)							
年1月1日現在の住所地が知立市でない場合には、次の書類を添付してください。 ① 生計をともにする世帯全員の市民税県民税課税証明書							

様式第3（第7条関係）

学業修了見込証明書兼推薦書

年 月 日

知立市教育委員会 様

学 校 名 _____

校 長 名 _____ 印

下記の者は、本校の学業が確実に修了できる見込みがあると認め、知立市緊急奨学金支給要綱に規定する奨学生に推薦します。

ふりがな 氏 名	生年 月 日	年 月 日
推 せ ん 所 見		

この学業修了見込証明書兼推薦書は、開封厳禁としてください。

様式第 4 (第 7 条関係)

緊急奨学金支給事由証明書

知立市教育委員会 様

証明者 住所 _____

氏名 _____ (印)

電話番号 () - _____

下記の事実に間違いなことを証明いたします。

記

ふりがな 氏 名		生年 月 日	年 月 日
事 由			
事 由 発 生 日	年 月 日		
特記事項			

記入上の注意

- 1 事由の欄には、緊急支給対象となる知立市緊急奨学金支給要綱第 2 条各号の事由を具体的に記入してください。
- 2 特記事項の欄には、証明書が特に必要と思われることを記入してください。
- 3 会社等で退職証明書等の様式がある場合には、その様式でかまいません。
- 4 証明事項を証明者に確認させていただく場合がありますので、承知おきください。

様式第 5（第 8 条関係）

緊急奨学金支給決定書通知書

第 号
年 月 日

様

知立市教育委員会 印

あなたを知立市緊急奨学金支給要綱に規定する奨学生に決定しましたので通知します。

なお、 年 月 日までに誓約書を知立市教育委員会に提出してください。

記

1 支 給 期 間

年 月から 年 月まで

2 支 給 額

月 額 円

様式第 6（第 8 条関係）

誓 約 書

年 月 日

知立市教育委員会 様

本 人
住 所

氏 名 ⑩

保証人
住 所

氏 名 ⑩

私は、このたび知立市緊急奨学生に決定されましたので、学業に励み、人格
向上に努め、健康に留意し、奨学金受給者としての本分をつくすことを保証人
連署をもって誓約いたします。

様式第 7 (第 9 条関係)

家庭狀況經過報告書

					記入日	年 月 日		
学校名				氏名				
住 所					電話	() -		
世帯員 (主たる生計維持者には、続柄欄に○印をつけてください。)	区 分	続柄	氏 名	年齢	職業、学校名、及び学年、身体障害、長期療養等	所得の種類 (営業、給与、年金等)	家計収入激減後の年間見込所得 千円	
	A 同居 して いて 生計 を と も に す る 者	本人						
	B 別居 して いて 生計 を と も に す る 者							
	生計を別にする者からの援助状況		援助者 住 所 氏 名		援 助 額 (年 額) 千円			
経 過								

※ 3ヶ月ごとに提出してください。

※ 口座振替の変更があった場合は、振込依頼書と一緒に提出ください。

様式第 8 （第 1 0 条関係）

緊 急 奨 学 生 異 動 届

知立市教育委員会 様

				届出日	年 月 日
				届出者	
本人	ふりがな 氏 名	ⓐ		生年月 日	年 月 日
	住 所				
保証人	ふりがな 氏 名	ⓐ		生年月 日	年 月 日
	住 所				
異動日		年 月 日			
異動事項					
異動事由					

様式第 9 （第 1 2 条関係）

緊急奨学金支給廃止通知書

第 号
年 月 日

様

知立市教育委員会 印

次のとおり、緊急奨学金の支給を廃止しましたので通知します。

記

1 支給廃止月 年 月

2 支給廃止事由

振込依頼書

年 月 日

保証人「保護者」等
住所

氏名 印

奨学金については、下記のとおり振込み願います。

記

・ 銀 行 ・ 信用金庫 _____ 支 店 ・ 農 協 ・ 信用組合		
普 通 ・ 当 座	番 号	
ふ り が な 口 座 名 義 人		